

## 第3期経営改革実施計画書

団体名	株式会社金沢商業活性化センター		計画期間	令和元年度 ～ 令和5年度	
設立年月日	平成10年10月7日	基本財産	46,000 千円	市出資額	23,000 千円
	[新公益法人への移行] 平成 年 月 日			市出資割合	50 %
設立意義・経緯	北陸の中心地としての長い歴史の中で、文化・伝統を培い、産業の求心力を維持してきた金沢市の中心商業地において、経済情勢の変化や郊外型大型店の出店ラッシュ等により、空地、空き店舗が目立ち始めるなど、県都金沢の顔ともいべき中心商業地の機能低下が表面化したことから、平成10年6月に「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的推進に関する法律」が制定されたのを契機として、金沢市（50%出資）、金沢商工会議所（4.75%出資）および商業者等（45.25%）が一致協力して、中心市街地の活性化を担う「街づくり機関（TMO）」としての「株式会社金沢商業活性化センター」を平成10年10月に設立した。				
設立目的	金沢市、金沢商工会議所および商業者等が一致協力した、商業振興策等を一体的に推進し、中心商業地の活性化を図る。				
定款で定める公益目的事業等	金沢市中心市街地活性化基本計画に沿った、多岐に亘る中心商業地の活性化に資する事業を推進				
所在地	金沢市高岡町9番1号		所管課	経済局商工業振興課	
代表者職氏名	代表取締役 篠田 健	ホームページアドレス	<a href="https://www.kanazawa-tmo.co.jp">https://www.kanazawa-tmo.co.jp</a>		
設立主体	市、商工会議所、商店街等	設立根拠	中心市街地活性化法に基づく認定団体		

これまでの改革の成果	<p>金沢市の中心市街地活性化という大きな役割を果たすために、経済社会情勢に対応した的確かつ迅速な事業を推進し、併せて、収益性についても会社の経営状況のバランスを考慮しながら運営を行った。また、中心商業地全体の包括的なにぎわいづくりなどの諸施策を展開させるため、株主、取締役をはじめとする関係機関と連携を図りながら、一体的な中心市街地活性化事業を実施した。</p> <p>特に、北陸新幹線金沢開業の対策として、下記事業の拡充を図った。</p> <p>①金沢ショッピングライナー「まちバス」の運行拡大 増加する国内外からの来街者に対応するため、増便運行を実施し、利便性向上に努めた。</p> <p>②中心商店街のショッピングマップ「かなざわまちなび」の増刷 新幹線開業を見据えて制作を開始し、開業時には日本語に加え、英語・中国語・台湾語・韓国語・仏語の5か国語を発行し、国内外からの観光客の対応強化を図った。</p>
直面する課題	<p>①既存自主事業の収益維持ならびに向上 当社の収益事業である「プレーゴ」、「金沢まちなかパーキングネット（まちP）」、「金沢ショッピングライナー（まちバス）」の収益維持並びに向上させる必要がある。</p> <p>②事業財源の開拓 金沢市から補助金等の支援があるものの、経済界の環境が厳しく、商店街負担金や企業協賛金等の確保が難しい状況であり、中心市街地活性化事業へ投資するための、新たな財源の開拓が必要である。</p> <p>③プロパー職員の人材確保と専門性の向上 社員の資質・能力の向上を図る必要がある。</p>
改革の基本的方向性	経済状況を勘案した既存事業の改革ならびに新規事業の開拓

経営目標	<p>1 既存自主事業の収益維持ならびに向上 売上高の増加を図るとともに、コスト節減等に努め、収益率を向上させる。</p> <p>2 事業財源の開拓 経営を安定させながら、新たな事業財源の開拓を図り、中心市街地活性化事業へ投資を行い、まちづくり会社としての役割を最大限発揮させる。</p> <p>3 プロパー職員の専門性の向上 中心市街地活性化事業を推進するために必要な、関係団体等とのネットワーク構築、円滑な渉外等の専門性を向上させるため、研修等を充実させ、プロパー職員の職務能力向上を図る。</p>			
改革に向けた取組 (令和元年度～令和5年度)	<p>1 既存自主事業の収益維持・向上 昨今の中心商店街の状況を勘案しながら、柔軟な運営と収益の維持・向上に努める。 (1) 「プレーゴ」は、空床の早期改善を図り、テナント入居率100%での運営を目指す。 (2) 「金沢まちなかパーキングネット(まちP)」は、サービス券の流通枚数が漸減傾向にあることから、収益性の改善を図る。 (3) 「金沢ショッピングライナー(まちバス)」では、乗客数の更なる増加を図る。</p> <p>2 自主事業財源の開拓 商店街・企業・金沢市等と連携しながら、社会情勢に対応した新たな中心市街地活性化事業を推進する。 (1) 空洞化対策「まちなか出店サポートセンター」の運営 (2) キャッシュレス決済普及促進事業</p> <p>3 市・商店街・大型店等との連携事業の強化 商店街・大型店・金沢市等と連携し、魅力向上と賑わいづくりに向けた新規事業を実施する。 (1) 三地区連携事業(香林坊・武蔵・金沢駅)の充実 (2) 広域商店街連携策「金沢バル」の開催(5タウンズ連携事業) (3) にぎわいづくり「鼓門ナイトパフォーマンス」の開催(金沢市委託事業)</p> <p>4 プロパー職員の専門性の向上 (1) 国や、他都市のまちづくり機関主催の専門研修会等に参加する。 (2) 他都市の事例研究を行うため、視察研修等を実施する。</p>			
成果指標 (実施計画の達成度を測るための指標)及び目標値等	成果指標		計画策定時数値 (平成30年度末)	計画目標値 (令和5年度末)
	既存自主事業の収益向上	プレーゴのテナント入居率100%	80%	100%
		金沢まちなかパーキングネット運営負担金を毎年0.5%強の増	3,833千円	3,929千円
		金沢ショッピングライナーまちバスの年間乗客数を毎年1%強の増	326千人	342千人
	事業財源の開拓	協賛企業等からの広告収入10%の増	10,170千円	11,187千円
プロパー職員の専門性の向上	専門研修会等への参加	年1回	年2回	
	他都市への視察研修	年2回	年3回	